第７号様式（第５条関係）



令和５年　４月28日

（あて先）浜松市議会議長

会　派　名　浜松市議会　公明党[redacted]

報告者

代表者氏名　代表　松下　正[redacted]

政務活動費収支報告書

浜松市議会政務活動費の交付に関する条例第９条の規定により別紙のとおり令和４年度政務活動費の収支報告をいたします。

別紙

会派名　　浜松市議会　公明党

令和　4　年度

1　収　　入

政務活動費　　9,000,034 円　（ただし、預金利息　34 円を含む）

2　支　　出

項　目	金　額（円）	備　考
調査研究費	226,727	市外・市内及び近接地の旅費
研修費	173,898	市外・市内及び近接地の旅費、セミナー受講料
広報費	569,655	旅費、通信作成・郵送代
広聴費	135,328	市内及び近接地の旅費
要請・陳情活動費	20,239	市内及び近接地の旅費
会議費	45,954	市内及び近接地の旅費
資料作成費	918,327	印刷紙、コピー代、リース代他
資料購入費	313,960	新聞購入、購読代
人件費	3,273,918	雇用職員給与、社保料、労働保険料
事務所費	307,358	コピー代、文具代他
合計	5,985,364	

注　備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3　残　　額　　3,014,670 円

別紙

会派名　　浜松市議会　公明党

令和　4　年度（前期）

1　収　　入

政務活動費　　4,500,017 円　（ただし、預金利息　17 円を含む）

2　支　　出

項　目	金　額（円）	備　考
調査研究費	217,921	市外・市内及び近接地の旅費
研修費	79,688	セミナー受講料、旅費
広報費	553,560	旅費、通信作成・郵送代他
広聴費	80,574	市内及び近接地の旅費
要請・陳情活動費	11,396	市内及び近接地の旅費
会議費	31,154	市内及び近接地の旅費
資料作成費	345,372	印刷紙、輪転機リース代他
資料購入費	191,355	新聞代、購読代
人件費	1,654,431	雇用職員給与、社保料、労働保険料
事務所費	130,926	コピー代、文具代他
合計	3,296,377	

注　備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3　残　　額　　1,203,640 円

別紙

会派名　　浜松市議会　公明党

令和　4　年度（後期）

1　収　　入

政務活動費　　5,703,657 円　（ただし、預金利息　34 円を含む）

（内訳）

政務活動費（前期からの繰越分）　　1,203,640 円　（ただし、預金利息　17 円を含む）

政務活動費（後期分）　　4,500,017 円　（ただし、預金利息　17 円を含む）

2　支　　出

項　目	金　額（円）	備　考
調査研究費	8,806	市外・市内及び近接地の旅費
研修費	94,210	市外・市内及び近接地の旅費、セミナー受講料
広報費	16,095	市内及び近接地の旅費
広聴費	54,754	市内及び近接地の旅費
要請・陳情活動費	8,843	市内及び近接地の旅費
会議費	14,800	市内及び近接地の旅費
資料作成費	572,955	印刷紙、コピー代、リース代他
資料購入費	122,605	新聞購入、購読代
人件費	1,619,487	雇用職員給与、社保料、労働保険料
事務所費	176,432	コピー代、文具代他
合計	2,688,987	

注　備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3　残　　額　　3,014,670 円

決算利息のお知らせ

令和 4年10月12日

お名前
浜松市議会公明党
代表　松下　正行　　様

科目　　普通預金
口座番号 [redacted]
計算期間　令和 4年 3月13日から
　　令和 4年 9月10日まで

決算前残高		円
決算預金利息	21	円
利子税	4	円
(内国税	3	円)
(内地方税	1	円)
差引支払利息	17	円
決算後残高		円

4.10.12 [redacted]
浜 松 い わ た 信用金庫
[redacted]

LPA4

決算利息のお知らせ

令和 5年 4月 7日

お名前
浜松市議会公明党
代表　松下　正行　　様

科目　　普通預金
口座番号　[redacted]
計算期間　令和 4年 9月11日から
　　令和 5年 3月11日まで

決算預金利息	21 円
利子税	4 円
(内国税	3 円)
(内地方税	1 円)
差引支払利息	17 円

浜 松 い わ た 信用金庫
[redacted]

LPA4

	科　目	相 手 先	摘　　要	収入	支出
R4.4.18	調査研究費	黒田　豊	東京出張		14,780
R4.4.18	調査研究費	幸田惠里子	東京出張		14,780
R4.4.18	調査研究費	山崎とし子	東京出張		14,780
R4.5.1	調査研究費	松下正行	4月分市内及び近接地旅費		1,295
R4.5.2	調査研究費	丸　英之	4月分市内及び近接地旅費		851
R4.5.2	調査研究費	黒田　豊	4月分市内及び近接地旅費		1,591
R4.5.6	調査研究費	黒田　豊	豊田市・京都市・神戸市		39,320
R4.5.6	調査研究費	幸田惠里子	豊田市・京都市・神戸市		39,320
R4.5.6	調査研究費	山崎とし子	豊田市・京都市・神戸市		39,320
R4.5.8	調査研究費	幸田惠里子	4月分市内及び近接地旅費		740
R4.6.1	調査研究費	黒田　豊	5月分市内及び近接地旅費		6,105
R4.6.2	調査研究費	丸　英之	5月分市内及び近接地旅費		222
R4.6.3	調査研究費	幸田惠里子	5月分市内及び近接地旅費		962
R4.7.1	調査研究費	松下正行	6月分市内及び近接地旅費		962
R4.7.1	調査研究費	黒田　豊	6月分市内及び近接地旅費		2,109
R4.7.8	調査研究費	黒田　豊	静岡県庁		10,614
R4.8.1	調査研究費	松下正行	7月分市内及び近接地旅費		2,960
R4.8.1	調査研究費	幸田惠里子	7月分市内及び近接地旅費		1,221
R4.8.1	調査研究費	黒田　豊	7月分市内及び近接地旅費		1,295
R4.8.2	調査研究費	丸　英之	7月分市内及び近接地旅費		2,420
R4.9.1	調査研究費	松下正行	8月分市内及び近接地旅費		2,405
R4.9.1	調査研究費	黒田　豊	8月分市内及び近接地旅費		1,665
R4.9.2	調査研究費	丸　英之	8月分市内及び近接地旅費		1,073
R4.9.6	調査研究費	幸田惠里子	8月分市内及び近接地旅費		74
R4.10.3	調査研究費	黒田　豊	9月分市内及び近接地旅費		5,698
R4.10.4	調査研究費	丸　英之	9月分市内及び近接地旅費		3,478
R4.10.5	調査研究費	松下正行	9月分市内及び近接地旅費		3,552
R4.10.6	調査研究費	幸田惠里子	9月分市内及び近接地旅費		1,776
R4.10.11	調査研究費	山崎とし子	9月分市内及び近接地旅費		2,553
	調査研究費 集計			0	217,921

	科　目	相手先	摘　要	収入	支出
R4.11.1	調査研究費	黒田　豊	10月分市内及び近接地旅費		1,480
R4.11.7	調査研究費	松下正行	10月分市内及び近接地旅費		1,628
R4.11.8	調査研究費	幸田惠里子	10月分市内及び近接地旅費		1,332
R4.12.1	調査研究費	丸　英之	11月分市内及び近接地旅費		1,443
R4.12.31	調査研究費	丸　英之	12月分市内及び近接地旅費		481
R5.2.2	調査研究費	幸田惠里子	1月分市内及び近接地旅費		1,184
R5.3.15	調査研究費	幸田惠里子	2月分市内及び近接地旅費		666
R5.4.10	調査研究費	幸田惠里子	3月分市内及び近接地旅費		592
	調査研究費 集計			0	8,806

（様式６）

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和４年　４月　14日　～　令和４年　４月　14日
出張先（目的）	衆議院第二会館大口善徳事務所（厚生労働省からのレクチャー）

出張者氏名	黒田　豊	幸田惠里子	山崎とし子	

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	３９，８４０円	詳細は下記および別紙添付
日　当	４，５００円	@　１，５００円×３人×１日
宿泊費	円	@　　円×　人×　泊
合　計	４４，３４０円	

		百	拾	万	千	百	拾	円
金　額				４	４	３	４	０

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和４年　４月　18日

会　派　名　浜松市議会　公明党

代　表　者　　松下　正行 [redacted]

（署名又は記名[redacted]てください。）

〈詳細〉

浜松駅　⇔　東京駅（新幹線指定席往復３人分）　37,080円（12,360円×３人）

東京駅　→　衆議院第二会館（タクシー）1,540円

衆議院第二会館　→　東京駅（タクシー）1,220円

（様式６）

〈別紙　領収書添付欄　1〉

駅-No　5201270　　領収書-No　06
　　窓口-No　1

領　収　書

浜松市議会公明党　様

金額　　￥37,080円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年 4月14日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

浜松駅

現金出納社員　[redacted]

No.2289
領収書
2022年04月14日
車番006130　　000
メーター　　1540円

運賃合計　　1540円

合計　　1540円
毎度ご乗車ありがとうございます
城西タクシー株式会社
お忘れ物、お気付の点は
TEL 03-6908-0091
無線タクシーのご用命は
東京無線タクシー配車センター
TEL 03-3361-2111

領　収　書
現・チ・ク・割引　No.8554
日付　'22年04月14日
車番　5034　　000
メータ運賃　　¥1220円
合計　　¥1220円
上記の通り領収致しました
通行料、他　　円
毎度ご乗車ありがとうございます
お忘れ物、ご要望は当社へ
DAIWA TAXI GROUP
京北自動車交通株式会社
TEL 03-3987-2514

（様式８）

令和４年４月14日

会 派 名　浜松市議会　公明党
代 表 者　代表　松下　正行　様

会 派 名　浜松市議会　公明党
氏　　名　　黒田　豊 [redacted]
（署名又は記名押印をしてください。）

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

１　出張者

黒田　豊　　幸田惠里子　山崎とし子

２　期間及び出張先

令和４年４月14日（木）衆議院第二会館大口善徳事務所

３　目的

厚生労働省からのレクチャー

視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長　様

会　派　名
代表者氏名
（署名又は記名押印をしてください。）

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

令和　4　年　4　月　18　日提出

浜松市議会公明党　松下　正行　様

報　告　書

出張日	令和　4　年　4　月　14　日（木）
出張先	衆議院第二議員会館（厚生労働省）
出張の理由	厚生労働省職員からレクチャー 福祉ホームとグループホームについて
出張者氏名　印	黒田　豊[redacted]　幸田恵里子[redacted]　山崎とし子[redacted]

出張の顛末

日時　令和4年4月14日（木）13：00～14：00

会場　衆議院第二議員会館

目的　厚生労働省職員から福祉ホームとグループホームについてレクチャーを受ける。

説明　厚生労働省　社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課　地域生活支援推進室長補佐
今井　貴士　氏

厚生労働省　社会・援護局 障害保健福祉部地域移行支援係
村松　拓也　氏

厚生労働省　社会・援護局 障害保健福祉部企画課　企画法令係長
名草あい　氏

所感

別紙

備考

報告書

報告者：黒田　豊

障害者総合支援法にある福祉ホームと近年、主流になったグループホームの違いや、グループホームについての厚労省の考えなどについてレクを受ける。

福祉ホームは、グループホーム以前に設置した障がい者の入所施設であるが、グループホームが主流になっている近年においても法に掲載されていることについて確認をする。

結果、福祉ホームは任意の施設であり全国で１３７か所ある中で、急には廃止できない現実があり法に残っている。

地方自治体から設置の依頼があれば、設置検討はするが積極的には設置しないと考えているということであった。

次に、グループホームについて、浜松においては現在、補助金を支給しない方針となっており、そのことについて疑問に思うこともあり、厚労省の考えを確認する。

令和６年度の障害者計画の改定に向け、地方自治体が準備を行っているはずであり、その計画に、いかにニーズを的確に把握し反映されるかが重要と。

全国で、グループホーム設置について助成金を支給している地方自治体は４割程度に過ぎず、浜松市が助成金を出さない方針については今後の課題と受け止める。

しかし、浜松市が助成金を支給しない理由に、計画値が満たされていることで、新たな設置希望がある場合に助成なしで設置されているが、現在、浜松市において４６のグループホームがあり、その内、助成ありの施設が１０にとどまっていることについて、計画の正確さに疑問をもっている。

令和６年度の計画についても、毎年、減ることがない障害児童の将来の受け皿としてグループホームは重要な施設であるがゆえに、計画策定については慎重に進めるよう、当局とも協議をすすめたいと考える。

報告書

報告者：幸田恵里子

障害者の家族にとって、当事者が将来どのような生活を望んでいるのかは、本人自身が決められない状況の中、一人で生活ができないから、家族（親や兄弟）と共に暮らすしかないと思っていたが、時代と共に核家族化や高齢化に伴い、施設入所型から地域移行型への流れがあり、その流れに沿うことに社会からも問いかけられる中、福祉ホームやグループホームという選択肢も悩みながらも、親なき後の本人の居住支援課題と向き合いながら生活している現状があります。しかしどのような社会になろうと、常に選択していく進む方向は、当事者である本人が幸せであってほしいとの願いがあります。

今回、厚労省の方からの福祉ホームとグループホームへの考えや事業内容のレクチャーから、国全体でも本市と同様な課題に直面する中、いかに適正な居住支援体制ができるのか。増えていくニーズに応える人の増員は必要で、今後も補助金がどのように使われているのかのチェック機能を強化し、自治体の責務を明確にしていくことが課題と感じました。そして生活の選択肢が増えていくことと、親以外の方々がどのような支援ができるのか。いろいろな状況に合わせたあり方の必要性も感じました。

特にグループホームの数や内容も含めて、当事者団体や地域移行支援協議会などの意見を聞き、まだまだ増え続ける支援を必要とされる人の把握につとめ、これからの支援計画もつくる中、補助金の対象件数の増加を考えていくべきと思いました。

報告書

報告者：山崎とし子

厚生労働省職員と勉強会

衆議院第２議員会館にて、厚生労働省　今井貴士氏（社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活支援推進室長補佐）他２名の職員と障害者施設の福祉ホームとグループホームについて説明を受け意見交換を行いました。福祉ホームは今後、積極的には設置せず、グループホーム設置に補助金を支給していくとのことでした。また障害者が可能な限り、地域の協力を得て自宅で生活できるような方法を模索していく方向であるとのことでした。そのためにはさらなる支援員の増員が必要だと感じました。

本市のグループホームは、46か所ある中で、設置時に助成制度を利用した施設が10か所にとどまっている状況です。

本市では計画値が満たされているという理由で障害者施設のグループホームの設置については助成金を出していないとのことですが、今後もグループホームの利用者数が増加すると予測されるため、計画の策定についての改善を求めていきたいと思います。

（様式６）

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和４年　４月　26 日　～　令和４年　４月　27 日
出張先（目的）	豊田市・京都市・神戸市（多頭飼育に関する調査のため）

出張者氏名	黒田　豊	幸田惠里子	山崎とし子	

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	５７，８４０円	詳細は下記および別紙添付
〃	６，７２０円	4/26　名鉄代
日　当	９，０００円	@　１，５００円×３人×２日
宿泊費	４４，４００円	@１４，８００円×３人×１泊
合　計	１１７，９６０円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
		￥	1	1	7	9	6	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和４年　５月　６日

会　派　名　浜松市議会　公明党

代　表　者　　松下　正行 [redacted]

（署名又は記名押印してください。）

〈詳細〉・新幹線(指定席)　17,780 円　※割引あり　別紙添付

・タクシー　豊田市駅～豊田市役所　600 円
豊田市役所～豊田市駅　720 円
京都駅～京都市動物愛護センター　1,100 円
動物愛護センター～ダイワロイネットホテル京都駅前　1,220 円
新神戸駅～神戸市役所　1,140 円
神戸市役所～新神戸駅　1,220 円

※党派を超える会　鈴木唯記子議員も含め４名での視察のため、タクシー代は４名で折半。

（様式６）

〈別紙　領収書添付欄　1〉

領収書No 61
駅-No 5201270 窓口-No 1
領　収　書

浜松市議会　公明党　様

金額　¥17,780円
（消費税等込み）

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年4月22日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

浜松駅

現金出納社員

領収書No 60
駅-No 5201270 窓口-No 1
領　収　書

浜松市議会　公明党　様

金額　¥17,780円
（消費税等込み）

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年4月22日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

浜松駅

現金出納社員

領収書No 63
駅-No 5201270 窓口-No 1
領　収　書

浜松市議会　公明党　様

金額　¥17,780円
（消費税等込み）

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年4月22日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

浜松駅

現金出納社員

領　収　書

2022年04月26日
車番　154480 No.7841 000
基本運賃　¥600
合計金額　¥600
決済対象額　¥600
決済金額　¥600
上記の通り領収致しました
名鉄東部交通㈱
本社営業所
豊田市広久手町２－２８
ＴＥＬ
０５６５－３２－１５４１

領　収　書
現・チ・ク・割引　No.6087
日付　'22年04月26日
車番　101220　800
メータ運賃　¥600円
迎車料金　¥120円
運賃料金計　¥720円
合計　¥720円
上記の通り領収致しました

本日のご乗車誠にありがとうございます
豊栄交通株式会社
豊田市深田町１－１２６－１
ＴＥＬ ０５６５（２８）０２２８

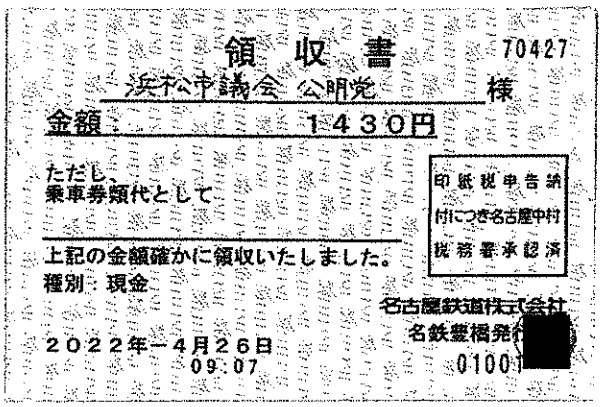
No.04
領収書
2022年04月26日
車両番号　1603号
乗車料金　¥1020円
迎車　¥200円
運賃料金計　¥1220円
計　１２２０円
帝産京都自動車㈱
京都市南区上鳥羽仏現寺町1
TEL　075（691）8161
本日のご乗車誠にありがとうございます。
またのご乗車をお待ちしております。

領収書
2022年04月26日 -012
メーター運賃　¥1,100円
合計　¥1,100円
現金支払　¥1,100円
車輌番号　0177
毎度ご乗車ありがとうございます。
京和タクシー㈱
京都市山科区四ノ宮クケ町８
☎ 075-581-1108

領収書
No.3951
日付　2022年04月27日
車番　1355　000
メータ運賃　¥1,140円
合計　¥1,140円
上記の通り領収致しました
GREEN&NANKOH TAXI㈱

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。
車両番号　２２８０号
２０２２年０４月２７日
乗車料金
¥１２２０円
立替金
円
（現金・チケット・クーポン）
上記の通り正に領収致しました。
扇弘タクシー株式会社
神戸市長田区大谷町３丁目23の33
TEL (078)-621-1672
FAX (078)-621-5218



領　収　書　70427

浜松市議会 公明党　様

金額：　１４３０円

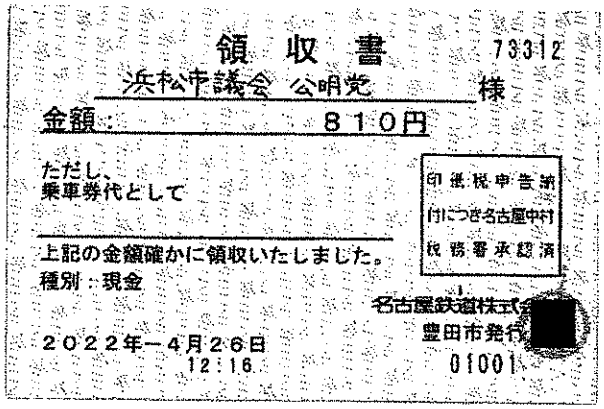
ただし、
乗車券類代として

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

上記の金額確かに領収いたしました。
種別：現金

名古屋鉄道株式会社
名鉄豊橋発行[redacted]
0100[redacted]

２０２２年－４月２６日
09:07



領　収　書　73312

浜松市議会 公明党　様

金額：　８１０円

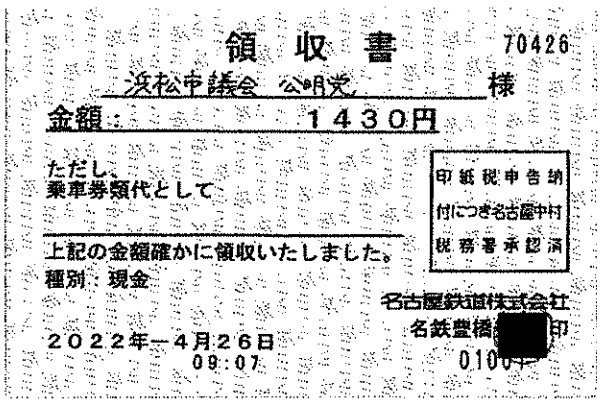
ただし、
乗車券代として

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

上記の金額確かに領収いたしました。
種別：現金

名古屋鉄道株式会[redacted]
豊田市発行[redacted]
01001

２０２２年－４月２６日
12:16



領　収　書　70426

浜松市議会 公明党　様

金額：　１４３０円

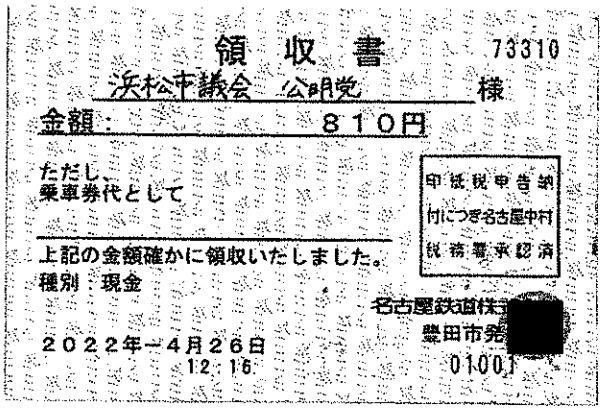
ただし、
乗車券類代として

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

上記の金額確かに領収いたしました。
種別：現金

名古屋鉄道株式会社
名鉄豊橋[redacted]印
0100[redacted]

２０２２年－４月２６日
09:07



領　収　書　73310

浜松市議会 公明党　様

金額：　８１０円

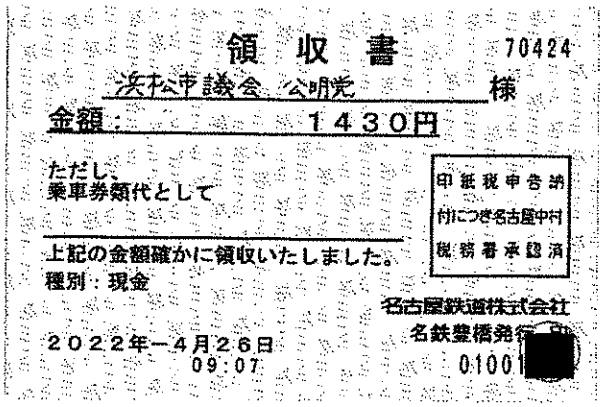
ただし、
乗車券代として

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

上記の金額確かに領収いたしました。
種別：現金

名古屋鉄道株[redacted]
豊田市発[redacted]
0100[redacted]

２０２２年－４月２６日
12:16



領　収　書　70424

浜松市議会 公明党　様

金額：　１４３０円

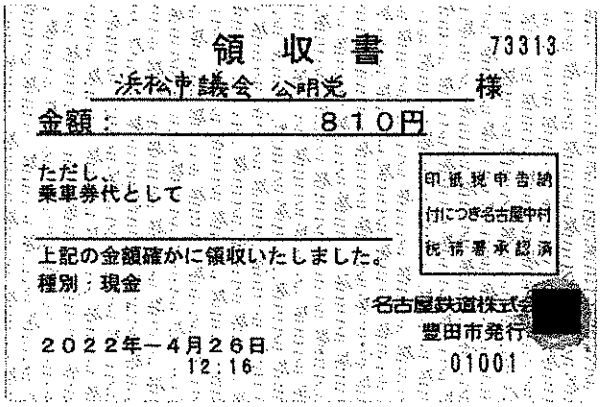
ただし、
乗車券類代として

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

上記の金額確かに領収いたしました。
種別：現金

名古屋鉄道株式会社
名鉄豊橋発行[redacted]
0100[redacted]

２０２２年－４月２６日
09:07



領　収　書　73313

浜松市議会 公明党　様

金額：　８１０円

ただし、
乗車券代として

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

上記の金額確かに領収いたしました。
種別：現金

名古屋鉄道株式[redacted]
豊田市発行[redacted]
01001

２０２２年－４月２６日
12:16

4/26(火)～27(水)　ペット議連　出張に伴う旅費について

新幹線　1人分　17,780円

駅	乗車券（割引）	特急料金
浜松駅～豊橋駅	680（340）	2,290
名古屋駅～京都駅	4,070(2,030)	3,270
京都駅～新神戸駅		2,290
新神戸駅～浜松駅	5,720（2,860）	4,700
合　計	（5,230）	12,550

名　鉄　　豊橋駅～豊田市駅(特急・三河線)　1人分　1,430円
豊田市駅～名古屋駅(三河線・急行)　1人分　810円

タクシー　豊田市駅～豊田市役所　600円　(3人分450円)
豊田市役所～豊田駅　720円　(3人分540円)
京都駅～京都市動物愛護センター　1,100円　(3人分825円)
動物愛護センター～ダイワロイネットホテル京都駅前　1,220円(3人分915円)
新神戸駅～神戸市役所　1,140円　(3人分855円)
神戸市役所～新神戸駅　1,220円　(3人分915円)

（様式８）

令和４年４月15日

会 派 名　浜松市議会　公明党
代 表 者　　松下　正行　　様

会 派 名　浜松市議会　公明党
氏　　名　　黒田　豊　[redacted]
（署名又は記名押印をしてください。）

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

１　出張者

黒田　豊　　幸田惠里子　　山崎とし子

２　期間及び出張先

令和４年４月26日（火）～令和４年４月27日（水）

豊田市・京都市・神戸市

３　目的

多頭飼育に関する調査のため。

視察依頼書送付願

令和４年４月15日

浜松市議会議長　様

会　派　名　浜松市議会　公明党
代表者氏名　　松下　正行　[redacted]
（署名又は記名押印を[redacted]い。）

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

浜松市ペットと共生するまちづくりを推進する議員連盟　視察案

1．豊田市
(1) 豊田市不良な生活環境を解消する条例について
① 制定の経緯
② 概要説明
③ 関係事業について
④ 成果等（条例に基づきゴミ屋敷が解消された実例）
⑤ 猫等の多頭飼育問題への対応について
関係各課との連携について
(2) アメリカ精神医学界ではゴミなど他人からは価値のないと思われるものを過剰にため込む「ためこみ症」（ホーディング）を精神疾患の一障害と位置づけ、2018 年には独立した「疾病」として加えたが、このホーダー（ためこみ症の人）についての考えは

2．京都市
(1) 京都市動物愛護センターについて
① 京都府と共同設置ということで運営の経緯とメリット等について
② 国内初の地中熱システム床冷暖房の特徴・導入の経緯について
③ 保護・引き取り・譲渡における「京都方式」のメリットと具体例について
④ ペットの災害対策の効果や参加者の声について
(2) 京都市動物との共生にむけたマナー等に関する条例について
① 制定の経緯
② 条例名が修正可決された経緯
③ 概要説明
④ 関係事業について
(3) 多頭飼育についての対応について
① 近年の猫等の多頭飼育の状況について
② また、条例に定められている多数の犬等の飼養等に係る届出が謳われているが、多数飼育者への指導・勧告等の現状について
③ 関係各課との連携について
(4) アニマルホーダーについての考えがあれば
① アメリカ精神医学界ではゴミなど他人からは価値のないと思われるものを過剰にため込む「ためこみ症」（ホーディング）を精神疾患の一障害と位置づけ、2018 年には独立した「疾病」として加えたが、これらの人をホーダー（ためこみ症の人）と呼び、特に動物をためこむ人をアニマルホーダーといわれている

3．神戸市
(1) 神戸市人と猫との共生に関する条例について
① 制定の経緯
② 条例名が修正可決された経緯
③ 概要説明
④ 関係事業について
⑤ 成果等（条例に基づき多頭飼育が解消された実例）
⑥ 猫の多頭飼育問題での関係各課の連携について
(2) 神戸市人と猫との共生推進協議会について
① 関係団体とその役割について
② 成果について
(3) 神戸市人と猫との共生に関するガイドラインについて
① 概要説明
② 市民への周知について
(4) アニマルホーダーについての考えがあれば
① アメリカ精神医学界ではゴミなど他人からは価値のないと思われるものを過剰にため込む「ためこみ症」（ホーディング）を精神疾患の一障害と位置づけ、2018 年には独立した「疾病」として加えたが、これらの人をホーダー（ためこみ症の人）と呼び、特に動物をためこむ人をアニマルホーダーといわれている

ペットと共生するまちづくり推進に関する視察　行程

集合時間　　8:30　　浜松駅

日程　　令和4年4月26日（火）～27日（水）

視察都市　　豊田市・京都市・神戸市

4月26日行程

1	8:51	浜松駅発	こだま703号	9:02	豊橋駅着
2	9:15	豊橋駅発	名鉄特急	9:46	知立駅着
3	9:50	知立駅発	名鉄三河線	10:14	豊田市駅着
	10:30	**豊田市視察**	～11:30		
	11:40	昼食	豊田市駅構内		
4	12:30	豊田市駅発	名鉄三河線	12:55	知立駅着
5	12:59	知立駅発	名鉄名古屋急行	13:26	名古屋駅着
6	13:41	名古屋駅発	のぞみ227号	14:15	京都駅着
7	14:20	京都駅発	タクシー	14:35	京都市動物愛護センター着
	15:00	京都市動物愛護センター視察	～16:30		
	16:45	京都市動物愛護センター発	タクシー	17:00	ホテル着

ダイワロイネットホテル京都駅前

京都市下京区烏丸通七条下る東塩小路町７０７－２

4月27日行程

1	9:15	ホテル発	徒歩	9:25	京都駅着
2	9:43	京都駅発	ひかり501号	10:11	新神戸駅着
3	10:15	新神戸駅発	タクシー	10:25	神戸市役所着
	10:30	**神戸市視察**			
	12:00	昼食	神戸市役所周辺		
4	13:00	昼食会場発	タクシー	13:15	新神戸駅着
5	13:34	新神戸駅発	ひかり510号	15:13	浜松駅着
6	15:15	解散			

Ｒ４年度　浜松市ペットと共生するまちづくりを推進する議員連盟　視察一覧

日時	視察先	視察事項	連絡先	備考
４／２６（火） 10：30～11：30 ※京都市へ移動	愛知県豊田市 （黒田議員）	「豊田市不良な生活環境を解消するための条例」について	豊田市議会事務局 山内（やまうち）様 0565-34-6665 gikai@city.toyota.aichi.jp 豊田市西町三丁目６０番地	当日は、豊田市南庁舎７階へ直接
４／２６（火） 15：00～16：30 ※宿泊	京都府京都市 （黒田議員）	「京都動物愛護センター」について 「京都市動物との共生にむけたマナー等に関する条例」について	京都動物愛護センター 075-671-0336 京都市南区上鳥羽仏現寺町１１番地 （京都市会事務局 総務課　坂本梓未様 075-222-3700 sikaisoumu@city.kyoto.lg.jp）	当日は、動物愛護センター入口へ直接 対応は、動物愛護センター所長伊藤様 医療衛生企画課　動物愛護係長河野様
４／２７（水） 10：30～12：00 ※15:10発のぞみ乗車	兵庫県神戸市 （黒田議員）	「神戸市人と猫との共生に関する条例」について	神戸市会事務局 総務課　渡辺ゆかり様 078-322-5853(内7112) gyoseichosa@office.city.kobe.lg.jp 神戸市中央区加納町６－５－１	当日は、神戸市役所１号館25階へ直接

（様式 10）

令和　4　年　5　月　2　日提出

（あて先）　会派名　　公明党
　　代表者　　松下　正行

報　告　書

出張年月日	令和４年４月２６日　～　令和４年４月２７日
出　張　先	豊田市・京都市・神戸市
出張の理由	豊田市　○豊田市不良な生活環境を解消する条例について ○ペットの多頭飼育問題への対応について 京都市　○京都動物愛護センターについて ○京都市動物との共生に向けたマナー等に関する条例について ○ペットの多頭飼育問題への対応について ○ペットの災害対策について 神戸市　○神戸市人と猫との共生に関する条例について ○神戸市人と猫との共生推進協議会について ○神戸市人と猫との共生に関するガイドラインについて
出張者 氏名印	黒田豊　幸田恵里子　山崎とし子

（出張の顛末）

１．豊田市　４月 26 日（火）　10:30～12:00
　説明：環境部環境保全課　松井慶輔　課長
　　豊田市動物愛護センター　松木三郎　所長

２．京都市　４月 26 日（火）　14:40～16:30
　説明：保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課　河野誠　動物愛護係長
　　京都市動物愛護センター　伊東大輔　所長

３．神戸市　４月 27 日（水）　10:30～12:00
　説明：健康局環境衛生課　動物衛生課　玉嵜一彦　担当課長
　　健康局環境衛生課　動物衛生課　今田吉孝　担当係長

（備考）

報告書　報告者：黒田　豊

1　豊田市

〇豊田市不良な生活環境を解消する条例について

〇ペットの多頭飼育問題への対応について

豊田市はゴミ屋敷問題について、真摯に取り組んでいるが、条例化するまでに二つの事件があった。

一つは、行政代執行を300万円もかけて行ったが、再びゴミ屋敷となってしまった案件。もう一つは、二軒の炎症を含むゴミ屋敷が火を出し全焼した事件である。

条例化により約400件の相談に対し、8割がた解決に至っている。

条例化まで試行錯誤があったが、最終的に京都市の支援型条例を参考に条例化された。

特筆すべきは、第一に地域の区長（自治会長）と協力してゴミ屋敷住民を説得し、ゴミの搬出などを行う事。

第二に、庁内対策会議で16課に及ぶ会議を行い、問題の共有を行い解決に向け調整をしている。このことで、意識と組織が充実したと。

第三に審議会の設置である。委員は弁護士、心療内科医師など必要とされる人材が揃っている。

特に、心療内科医師には、具体的なアドバイスをいただき、市職員が自信を持って対応にあたれるとのことであった。

今回の調査活動により、浜松市の行政の硬直化が浮き彫りになり、自治会への仕事の見直しや協働の意味を考え直す必要があると感じる。

次に、動物愛護センター長から、多頭飼育問題や地域猫対応など、話を伺う。

浜松市と大きく違う点は、まずは、職員配置である。13人の職員のうち6人が獣医で猫の去勢手術もセンター内で職員が行い、浜松市のように市民に一匹につき6000円もの負担を求めていないし、獣医師に協力を求めていないことである。

子猫の預かりも徹底して行い、預かった子猫を育て、里親探しに奔走している。

改めて感じた事は、センター職員が地域に入り、対応している。

行政と地域住民との垣根の低さが、このような取り組みとなっているのであろう。

浜松市は、様々なところで、改善の余地があるし、関係職員も先進市を訪問し勉強しなければならない。

2　京都市

○京都動物愛護センターについて

○京都市動物との共生に向けたマナー等に関する条例について

○ペットの多頭飼育問題への対応について

○ペットの災害対策について

視察初日の午後は、京都動物愛護センターを訪問し調査活動を行った。
まず、条例制定について、動物愛護とは何かを定める必要があるとして「京都動物愛護憲章」を定めたのは感心した。
条例制定に伴い、行政の事業も、野良猫、地域猫、飼い猫というようにそれぞれに取り組みを体系的に明確化している。

災害対策では、避難所単位で、独自にマニュアルを策定する様に依頼しているが、380ヶ所で整備済みで88%が完了している。

多頭飼育についても、登録制を導入し完了している。
京都市も豊田市同様、多機関連携をもとに動いていることが印象的であった。

動物愛護センターについて、こちらは、二重行政解消の一環で、府市共同の施設で職員配置は26名で10名が獣医師である。

野良猫の去勢手術もセンターで行うのは豊田市と同じで市民の負担はゼロである。浜松市は市民負担が6000円だが、どうしてそのような経緯になったのか、改めなければならないとも思った。

京都市は、殺処分をゼロにすることが課題でありそのための事業に取り組んでいる。「京都動物愛護憲章」の制定や、ペットの災害時避難所マニュアルを避難所ごとに作成していること、そして、多頭飼育問題については登録制を導入し、問題解決に向け庁内連携を図っていることなど、学ぶべき点があまりにも多かった。

3　神戸市

〇神戸市人と猫との共生に関する条例について

〇神戸市人と猫との共生推進協議会について

〇神戸市人と猫との共生に関するガイドラインについて

浜松市議会ペットと共生するまちづくり促進議員連盟の視察の最後は神戸市です。神戸市において課題になっていたのが、猫の殺処分の多さ。全国比でも下位に位置していたことをなんとかしないといけないと思っていたところ、議会提案の条例案が提出され最終的に施行されたと。

条例化の後、関連し、ガイドラインの策定や協議会を立ち上げた。

神戸市では、この協議会が核となり特に猫対策に取り組んでいます。

この協議会も浜松市とは違い、獣医師をはじめ、民間企業や専門家、保険会社など多種多様のメンバーが入り、事務局は獣医師会が雇用し事務局にさまざまな問題が届き、その対応をさまざまな機関に振り分けている。

もちろん、去勢手術も無償で行われ、その財源は、神戸市からな補助金2000万円と民間企業からの寄付約400万円ということだった。

今回、豊田市、京都市、神戸市の3市を訪問して調査活動を行っただが、浜松市と違いすぎる違いが3点あり、1つは、去勢手術費を市民に求めていないという事。

2点目はセンターの機能や使い方で、センターにおいて、市職員の獣医師が去勢手術ができるような体制を組んでいる事。

そして、多頭飼育対応において、庁内連携を可能にする対策会議が組織されているということであった。

今後も、浜松市のペット施策、組織や職員配置について指摘し続けなければならないと強く感じた調査活動となった。

ペットと共生するまちづくりを推進に関する視察　　2022.4.26・27

報告書　　報告者　幸田恵里子

4/26　豊田市

環境部　環境保全課からのごみ屋敷の事例を通して、平和２８年４月に「豊田市不良な生活環境を解消するための条例」を施行するまでの経緯や概要説明を伺いました。地域（浜松市いうと自治会）の理解や協力体制の素地があること。ごみ屋敷に至る当事者自身が改善していくには支援が必要で、地域と行政が 10 回以上は検討会を開いていたとのこと。また、有識者を７名（大学の先生や弁護士、心療内科の先生など）のメンバーで審議会を立ち上げ、定期的に報告していること。福祉との協力体制は関係課が複数で関わる意識と組織ができたこと。条例によって手続きなども自信をもって判断できるようになったなど、条例があることの意味を感じました。

豊田市動物愛護センターは保健所が所管課で、獣医師の職員が野良猫や地域猫の避妊や去勢手術を行なっています。野良猫などは一切市民の手術費用は必要ないとのことでした。一本化した相談窓口で指導も手術もできる体制になっているセンターの運営に浜松にはない徹底した体制になっていました。

4/26　京都市

京都市動物との共生に向けたマナー等に関する条例（マナー条例）は府市共同で京都動物愛護センターを設置することを契機に「京都動物愛護憲章」を制定し、犬猫等の

糞尿被害をはじめとする違反の罰則などの実効性ある措置を定めた条例を制定されました。現時点で過料などの罰則を受けた事例はなかったが、条例があることで効果があったのではないかとのことでした。

飼い猫の避妊去勢手術の助成制度もあり、手術への意識があがったのではないかと思いました。また、１０頭以上の届け出が必要としたことで多頭飼育対策にも繋がっているのではないかとも感じ、やはりそこには地域や支援部署との連携の枠組みがあることが大きいと感じました。

動物愛護センターが、府市共同での設置となりセンター内が立地条件なども大変充実されていて、夜間も医療が受けられる体制があり、収容されている犬猫が譲渡されるまで大切にされながら暮らしていることを確認できました。

4/27　神戸市の「人と猫との共生に関する条例」の取組み。

野良猫が繁殖しないための協議会を立ち上げ集中的に検討する場を設けて、具体的に課題解決をしていました。例えば、餌場から２００メートル周辺に捕獲機を設置し、捕獲することを地域住民に知らせ、地域猫として戻すことの協力を提示されていました。また、「人と猫との共生に関するガイドライン」を作成し、野良猫を適正管理するためのルールを明確にしていました。地域全体で猫を見守っていく意識の大切さを訴えるガイドラインでした。議員発議での条例制定が発端となり、殺処分を減らす取組みが進んだとの報告に、やはり条例制定の必要性を感じました。

ペットと共生するまちづくり推進に関する視察　　2022.4/26・27

報告書　　報告者：山崎とし子

豊田市

環境部環境保全課より「豊田市不良な生活環境を解消する条例」について説明を受けた。ごみ屋敷について10年以上の対応を地域との協力をいただきながら行ってきたが、ごみ屋敷の全焼により3件が類焼した事件がきっかけで条例制定に至った経緯を聞いた。京都市の支援型条例を参考に条例化し、419件のうち333件が解消し、効果が注目に値する。また条例により16課による庁内対策会議を行い、自信を持って執行でき立ち位置が明確になったとの事でやはり条例制定の重さを感じた。

審議会の委員に、心療内科医師や弁護士を含んでいるため、当事者への対応に自信を持って行うことができると話していて、納得できた。動物愛護センターについても福祉部局、包括支援の職員も研修会に参加し意見交換を行えることは良い取り組みだと感じた。センターは動物園と別になっており市民が気軽に立ち寄れる環境にある。避妊去勢手術は無料であり浜松との意識の違いを感じた。

京都市

京都動物愛護センターにて「京都市動物との共生に向けてマナー等に関する条例」について説明を受けた。全国で初めて府市共同で京都動物愛護センターを設置することを契機に「京都動物愛護憲章」を制定。犬猫等のふん尿被害をはじ目とする事象に対し、具体的な規制行為等を示すと共に違反に対する罰則等の実効性のある措置を定めた。マイクロチップ装

着助成事業、避妊去勢手術の助成事業、多頭飼育の届け出などを条例内容に入れ市民の意識レベルアップ効果があり、また行政指導がしやすくなったとのことで納得できた。常に市民に開かれたセンターで、市民もトリマー室やドッグランを使用できる環境が素晴らしいと感じた。

神戸市

神戸市「人と猫との共生に関する条例」の取組について説明を受けた。猫の殺処分を減らすために繁殖制限事業や猫の譲渡事業を条例に基づき行っている。またガイドラインの作成により飼い猫や野良猫を管理する明確にし、市民への理解と協力を推進している。年度ごとに支援地域を変えて野良猫の不妊手術を実施しているとのことだった。いずれも地域住民の協力があっての事業だと感じた。神戸市も不妊手術は無料であるため、理解と協力が得られやすいと感じた。

（様式８）

令和４年７月５日

会 派 名　浜松市議会　公明党
代 表 者　　松下　正行　　様

会 派 名　浜松市議会　公明党
氏　　名　　黒田　豊　[redacted]
（署名又は記名押印をしてください。）

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

１　出張者

黒田　豊

２　期間及び出張先

令和４年７月７日（木）10：30～11：00　静岡県庁

３　目的

県営野球場の基本計画について

視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長　様

会　派　名
代表者氏名
（署名又は記名押印をしてください。）

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

（様式６）

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和４年７月７日　～　令和４年７月７日			
出張先（目的）	静岡県庁（県営野球場の基本計画について）			
出張者氏名	黒田　豊			

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	９，１１４円	詳細は下記および別紙添付
日　当	１，５００円	@　１，５００円×　１人×　１日
宿泊費	円	@　　円×　人×　泊
合　計	１０，６１４円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
			¥	1	0	6	1	4

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和４年　７月　８日

会　派　名　浜松市議会　公明党

代　表　者　　松下　正行 [redacted]

（署名又は記[redacted]てください。）

〈詳細〉

自家用車　自宅－浜松 IC－静岡 IC－静岡県庁－静岡 IC－三方原スマート IC－市役所－自宅

182 km×37 円＝6,734

高速代（浜松 IC～静岡 IC）　1,010 円

（静岡 IC～三方原スマート IC）　1,070 円

駐車料金　300 円

（様式６）

〈別紙　領収書添付欄　１〉

領収書

入庫時刻　07月07日　10時01分

精算時刻　07月07日　10時59分

受領金額　300円

2022年07月07日10時59分　発行

COMOTE
PARKING
TEL 0570-011-500

ご利用明細書

ＥＴＣ利用照会サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
※本ご利用明細書ＰＤＦは、ＥＴＣ利用照会サービスにて出力されたもので、一度に５００件まで出力できます。
５００件を超える場合は複数回に分けて出力してください。
※２０１９年１０月１日以降の通行料金は消費税率１０％対象です。
詳しいサービス内容はＥＴＣ利用照会サービスウェブサイト
(https://www.etc-meisai.jp/)にてご確認ください。

合計金額

	支払い総額	¥2,080
内訳	還元額適用金額	¥0
	後納利用金額	¥2,080

利用ＩＣ(自) 利用ＩＣ(至)	利用年月日 時分	(割引前料金) (ＥＴＣ割引額) 通行料金	還元額適用料金 後納料金	車種 車両番号 ＥＴＣカード番号	備考
22/07/07 09:06 浜松	22/07/07 09:47 静岡	1,010	1,010	1 [redacted] *******[redacted]	確認中 *1
22/07/07 11:15 静岡	22/07/07 12:16 三方原スマート	1,070	1,070	1 [redacted] *******[redacted]	確認中 *1

NEXCO 東日本　NEXCO 中日本　NEXCO 西日本　首都高　阪神高速　本四高速

令和　4　年　7　月　8　日提出

浜松市議会公明党　松下　正行　様

報　告　書

出張日	令和　4　年　7　月　7　日（木）
出張先	静岡県公園緑地課
出張の理由	静岡県営野球場基本計画の進捗等について
出張者氏名　印	黒田　豊 [redacted]

出張の顛末

面談者　：　静岡県交通基盤部　都市局長　　飯田　温　氏

〃　　〃　　公園緑地課長　伊東　氏　　他　2名

時間　　：　10：30　～　11：00

内容　　：　県営野球場の基本計画策定等の進捗状況について

【　所　感　】

昨年12月に訪問し、今回2回目の訪問となる。

今年中に基本計画策定するというスケジュールの中、進捗状況の確認を行う。

現状は、アカウミガメ対策が重要課題となっており、そのためにドーム型野球場の案が浮上している。

ただ、2万人規模のドーム球場の事例がないため予算の算出ができない状況とのこと。

また、ウミガメの赤ちゃんを借りて8月の新月の夜と9月の満月の夜に実験を行うということであった。

いずれにしても、最終的には政治判断となり、最終決着は全く見えない状況であった。

備考

	科　目	相 手 先	摘　　要	収入	支出
R4.6.3	研修費	山崎とし子	5月分市内及び近接地旅費		518
R4.8.1	研修費	松下正行	7月分市内及び近接地旅費		555
R4.8.2	研修費	丸　英之	7月分市内及び近接地旅費		111
R4.8.3	研修費	山崎とし子	7月分市内及び近接地旅費		1,036
R4.8.9	研修費	地方議会総合研究所	セミナー受講料(幸田)		25,000
R4.8.9	研修費	地方議会総合研究所	セミナー受講料(山崎)		25,000
R4.8.10	研修費	地方議会総合研究所	セミナー受講料(山崎)		25,000
R4.8.10	研修費	地方議会総合研究所	セミナー手数料		1,210
R4.9.6	研修費	幸田惠里子	8月分市内及び近接地旅費		444
R4.10.4	研修費	丸　英之	9月分市内及び近接地旅費		814
	研修費 集計			0	79,688

	科　目	相 手 先	摘　　要	収入	支出
R4.11.10	研修費	株式会社防災研修センター	セミナー受講料		20,385
R4.11.17	研修費	松下正行	やらまいか交流会		18,225
R4.11.17	研修費	黒田　豊	やらまいか交流会		18,225
R4.11.17	研修費	丸　英之	やらまいか交流会		18,225
R4.11.17	研修費	山崎とし子	やらまいか交流会		18,225
R4.12.31	研修費	丸　英之	12月分市内及び近接地旅費		407
R5.1.6	研修費	黒田　豊	12月分市内及び近接地旅費		518
	研修費 集計			0	94,210

（様式７）

支　払　証　明　書

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
			¥	7	6	2	1	0

但し　　セミナー受講料　　として

8/1　振込　150,000円＋手数料550円＝150,550円
　振込150,000の内訳　8/9(火)分　25,000円（1人分）×3人＝75,000円
　　8/10(水)分　25,000円（1人分）×3人＝75,000円

8/3　キャンセル分返金　75,000円－手数料受取人負担金660円＝74,340円
　返金75,000の内訳　8/9(火)分　25,000円（1人分）
　　8/10(水)分　25,000円（1人分）×2人＝50,000円

支払先　(株)地方議会総合研究所
受講料　１５０，０００円
振込手数料　＋５５０円
合　計　１５０，５５０円

返　金　７５，０００円
振込手数料　－６６０円
合　計　７４，３４０円

１５０，５５０－７４，３４０＝７６，２１０
※別添、領収書・返金分明細あり

上記の金額を政務活動費として支払うことを証明します。
令和４年　８月　10日

会派名　浜松市議会　公明党
代表者　松下　正行　[redacted]

（様式７）

〈別紙　領収書添付欄　1〉

領収書

2022 年 8 月 9 日

浜松市議会　公明党　　様

金額

¥25,000

但 8 月 9 日セミナー受講料(幸田恵里子様)として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社　地方議会総合研究所

領収書

2022 年 8 月 9 日

浜松市議会　公明党　　様

金額

¥25,000

但 8 月 9 日セミナー受講料(山崎とし子様)として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社　地方議会総合研究所

領収書

2022 年 8 月 10 日

浜松市議会　公明党　　様

金額

¥25,000

但 8 月 10 日セミナー受講料(山崎とし子様)として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

[redacted]

D 4- 8- 3　振込入金* カ)チホウギカイソウコ　74,340　[redacted]

〔ご説明〕
1．証券類のご入金については、摘要欄に「他券とお支払ができる予定日」を表示いたします。なお、お支払可能時刻は、上記日付の午後となります。(証券類の種類によって時刻は異なります)
2．摘要欄に「＊ＡＤ＊」、「＊ＣＤ＊」等の「＊　　＊」のついた取引については再記帳いたします。



[redacted]

キャッシュサービスご利用票

毎度ご利用いただきありがとうございます

浜松いわた信用金庫

お取扱日	取扱金庫・店舗	種別	取扱通番
04-08-01	150301 1-9554		

カード発行金融機関 店番	口座番号
1503-	[redacted]

万単位	千単位	百単位	十単位	お取引金額
000	000	000	000	¥150,000＊

お取引内容	お取引後残高
支払い	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

手数料	¥550	ページ	現金
時刻	10:19		おつり

[redacted]様

ハママツシギーカイコウメイドウ様
TEL053457-2492

＊＊＊＊＊＊＊
印紙税申告納付につき浜松西税務署承認済

ご利用ありがとうございました。

（様式10）

令和 4 年 8 月 9 日提出

（あて先）　会派名　　浜松市議会公明党
　　代表者　　松下正行

報　告　書

出張年月日	令和4 年 8 月 9 日 ～ 令和 4 年 8 月 9 日
出　張　先	京都でのセミナーをコロナ禍のため自宅でオンライン受講
出張の理由	議員のための都市計画＜基礎編＞＜活用編＞
出　張　者 氏　名　印	本田恵里子 （署名又は記名押印をしてください。）

（出張の顛末）報告

少子高齢化社会における持続可能なまちづくりを考えると題し、筑波大学　谷口守教授による講座を受講した。全国的にも日本の都市は人間の身体に例えても、成人病にかかっているとの見解を示す中、「生き物」も「都市」も実は似ていて、都市で困ったことがあれば、生き物から学べ→バイオミメティクス（生物模倣学）とのこと。

都市もはっきり言って成人病（生活習慣病）だらけコンパクト化＝都市のメタボ防止をするには、市町村MP連結図に見る広域的整合性が必要で、隣接する市町とのネットワークで将来の都市構造（マスタープラン）を考えていないことを指摘されていた。私からも県のマスタープランと、本市のマスタープランとの整合性が実際とれるのか。本市は天竜川で西と東が分かれていることも考えるとどのようにしたらいいのかと質問したところ、湖西市との連結は必要ではないかとのアドバイスをいただいた。

都市計画の基本的な仕組みとして、用途地域ごとにまとめる構成でコントロールしていく。住宅、商業、工業。また、市街化調整区域と市街化区域。コンパクトシティを再考し、本市の都市構造の「体質改善」の必要性も感じました。

（備考）

（様式 10）

R4 年 8 月 10 日提出

（あて先）　会派名　　浜松市議会公明党
　　代表者　　松下正行

報　告　書

出張年月日	令和４　年　８　月　　９日　～　令和　４　年　　８月　　10 日
出　張　先	京都セミナーをコロナのため自宅でオンライン受講
出張の理由	議員のための都市計画、<基礎編><活用編> 障害児と防災―命と尊厳の課題― 特別支援学校における防災の実践　について受講
出　張　者 氏　名　印	山崎とし子 （署名又は記名押印をしてください。）

（出張の顛末）

地方議会総合研究所主催セミナーのうち２日間の京都セミナーを、申し込んだがコロナ感染拡大のため、オンライン受講をした。

８月９日　（午前の部）議員のための都市計画<基礎編>
　　（午後の部）議員のための都市計画　<活用編>
　　講師　筑波大学　谷口守教授

８月 10 日（午前の部）　障害児と防災-命と尊厳の課題-
　　（午後の部）特別支援学校における防災の実践
　　講師（一社）福祉防災コニュニティー協会福祉防災上級コーチ
　　湯井恵美子

（備考）

（様式 10）

報告書
報告者：山崎とし子

8 月 9 日【議員のための都市計画】
少子高齢化社会における持続可能な街づくりを考えるために、日本の現状は、生き物に例えると成人病にかかっている状態であるということ。循環不全、肥満化など都市の状態の令和挙げて説明を受けた。人口減少が加速する現代ではコンパクトシティを再考し拠点と交通軸をしっかり形成するなど街の体質改善を進めていく必要がある。公共交通が主軸なコンパクトシティが高齢化対応、賑わい、健康まちづくりについてなど様々な効果を期待できるものであり、推進していくことの必要性を感じた。また、午後の部のテーマである人口の取り戻し方については人口減少予測にあらがうための政策として様々な市町が子育て支援や住宅支援、起業・就農支援を行っている。また、スマート化、サイバー化するまちづくりのテーマでは両方の長所を生かしていくことが必要だと感じた。コロナの影響を大きく受けた都市は、コンパクトシティから遠い米国の自動車に頼っている都市であること。自動車に頼らない国ほどコロナに強いという分析データも興味深く感じた。

8 月 10 日【障害児者と防災】
障害児者・高齢者の命と尊厳を守るために、発災直後の対応（安否確認・避難支援）をできる限りきめ細かく計画する必要があると痛感した。
特に福祉避難所の開設運営訓練や、避難所滞在での課題がどこまで実現できるか検討する必要がある。
また全国で災害時避難行動要支援名簿作成完了率はR2 年度において 99.2%と高いが個別避難計画の作成完了率が９，７%と平成 29 年度から減少傾向にあるとのことで毎年の更新がしっかりされているか把握しなければならない。
個別避難計画がプライバシー侵害問題と絡み、なかなか進まないことも問題ではないかと感じているが、さらに行政の積極的な指導が必要ではないかと思う。

同時開催！
オンラインセミナー

議員・職員のための

少子高齢化社会における持続可能なまちづくりを考える

＜概要＞

地域活性化、人口減少対策、SDGs、自動運転などのモビリティ・イノベーション、コンパクトシティ、健康まちづくり、社会基盤の維持管理など、現在の自治体行政はまちづくりや都市計画に関係する課題にあふれています。またその中身もコロナへの対応、DX（デジタル・トランスフォーメーション）など時代に応じて急激に変化しており、先を見据えた対応が求められます。この授業では都市計画の基本的な仕組みを理解し、議会対応や住民との対話を進めるうえで知っておく必要のある最新の諸課題を整理するとともに、今後の方向性についても解説を行います。

8月9日（火） in 京都

◆10:00 ～ 13:00

議員のための都市計画 ＜基礎編＞

1. はじめに：
   成人病にかかった日本の都市
2. 豊かな都市空間を考える
3. 都市計画の基本的な仕組み
4. コンパクトシティを再考する

◆14:00 ～ 17:00

議員のための都市計画 ＜活用編＞

1. 人口の取り戻し方
2. 環境負荷とSDGs
3. スマート化、
   サイバー化するまちづくり
4. Beyond コロナのまちづくり



講師：谷口 守【筑波大学教授】

京都大学工学部助手、カリフォルニア大学バークレイ校客員研究員、筑波大学社会工学系講師、ノルウェー王立都市地域研究所文部省在外研究員、岡山大学環境理工学部助教授、同教授を経て平成21年より現職。
国際住宅・都市計画連合（ＩＦＨＰ）評議員、国土審議会・社会資本整備審議会・交通政策審議会専門委員、日本都市計画学会学術委員長・理事などを歴任。
著書に『地域・まちづくりワーク：成功に導く進め方と技法』『生き物から学ぶまちづくり』『入門都市計画：都市の機能とまちづくりの考え方』ほか。
令和3年度文部科学大臣賞（科学技術賞）受賞。

(株)地方議会総合研究所

教員・職員のための

特別支援学校ＢＣＰと地域連携

8月10日（水） in 京都

同時開催！
オンラインセミナー

10:00～13:00

障がい児者と防災
いのちと尊厳の課題

1. 大災害と障がい児者
   誰かに逃げろと言ってほしかった
2. なぜ学校は防災に取り組むのか
3. 特別支援学校は安全ではない？！
4. 机上訓練体験　福祉避難所開設運営を
   やってみよう！
5. 学校と地域　みんなで助かるために

14:00～17:00

特別支援学校における
防災の実践

1. 国難を知る　南海トラフ地震発生のメカニズム
2. 新制度による福祉避難所マネジメント
3. 特別支援学校における学校防災の実践事例
   3－1　学校防災アドバイザー派遣事業より
   3－2　大阪府立支援学校の事例紹介
   （府立和泉支援学校・府立富田林支援学校）
4. 特別支援学校の安全安心を形にするために
   4－1　学校BCPと個別の教育支援計画
   4－2　個別避難計画と地区防災計画
   （倉敷市真備町での実践事例）
5. みんな元気になる福祉避難所



講師：**湯井恵美子**
【(一社)福祉防災コミュニティ協会
福祉防災上級コーチ】

1966年熊本県生まれ、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科にて修士号を取得、現在は博士後期課程に進学し福祉防災の研究を続けている。防災士No.79000。大阪府立支援学校PTA協議会会長等を経て、大阪府教育委員会委嘱学校防災アドバイザーとして特別支援学校のBCP作成及びマネジメントに従事。また（一社）福祉防災コミュニティ協会上級コーチ、おおさか災害支援ネットワーク世話役等に所属し、各地の被災地支援活動や講演等を行う。

講師：**山本昇**
【大阪府立和泉支援学校　首席　防災担当】

講師：**下井智史**
【大阪府立富田林支援学校　首席　防災担当】

(株)地方議会総合研究所

（様式７）

支　払　証　明　書

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
			¥	2	0	3	8	5

但し　　セミナー受講料　　として

支払先　(株)防災士研修センター
受　講　料　　２０，０００円
振込手数料　　３８５円
合　　計　　２０，３８５円

※別添、領収書・詳細あり

上記の金額を政務活動費として支払うことを証明します。

令和４年　11月　10日

会　派　名　　浜松市議会　公明党
代　表　者　　松下　正行 [redacted]

令和４年11月10日

浜松市議会 公明党　様

領　収　証

金額　¥20,000-（税込）

但　自治体議員防災研修受講料（幸田 惠里子様分）
として上記正に受領いたしました

＜令和４年11月19日（土）＞

「ｿｰｼｬﾙ・ｲﾝｸﾙｰｼﾞｮﾝの具体的内容」	講師：青山　佾　令和防災研究所所長【明治大学名誉教授】
「全国初のケアラー条例を制定して」	講師：田村　琢実【埼玉県議会議員】
「ﾔﾝｸﾞｹｱﾗｰ支援の課題と必要な社会的取組み」	講師：堀越　栄子【日本ケアラー連盟代表理事】

株式会社防災士研修センター
一般社団法人令和防災研究所
東京都千代田区平河町２－７－４ [redacted] 砂防会館別館７階
電話：03-3556-5051　FAX：03-3556-5535

普通預金（兼お借入明細）　＊差引残高欄部に「－」記号があるときはお借入残高です。 3

年月日	摘　要	お支払金額	お預り金額	差引残高
D 4-11-10	ATM振込	20,000	＊CDｵﾘﾄ＊	
D 4-11-10	手数料	385		

ご注意　通帳には磁気テープを貼り付けておりますので、他の通帳・携帯電話・テレビ・パソコン・バッグの留め金等磁気を帯びたものには近づけないようご注意ください。

浜松市議会議員
　幸田 惠里子 様

自治体議員福祉研修事務局でございます。
お世話になっております。

下記のご連絡、有難うございました。
日程変更の件、問題ございません。
19日のみオンラインで参加とのことで、承知いたしました。

19日のみですと20,000円となります。
お忙しいところ恐れ入りますが、下記の通り受講料のお振込みをお願いいたします。
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
お振込期限：2022年11月14日（月）まで
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
期日までにご入金が確認できない場合、お申込みお取消しとなる可能性がございます。予めご了承ください。
期日までのお手続きが難しい場合、事務局までご一報ください。
※テキストと領収書は、ご入金確認後、11月中旬をめどに発送いたします。（領収書の日付はご入金日となります。）
※お取消しをご希望の場合は、必ずご連絡ください。

【お振込先】
お振込方法：以下1．2．いずれかの方法でご入金ください。

1．銀行口座へのお振込み
銀行名：[redacted]
支店名：[redacted]
店番号：[redacted]
口座種別：[redacted]
口座番号：[redacted]
加入者名：[redacted]
※振込名義が【お名前】と異なる場合は、必ず【お申込みNo.】をご入力ください。

2．払込取扱票によるご入金
郵便局備え付けの払込取扱票に、以下の内容をご記入の上、窓口もしくはATMにてお手続きください。
口座記号番号：[redacted]
加入者名：[redacted]
通信欄：【お申込みNo】【お申込みコース名】【お名前】

【ご注意ください】
※振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。
※ご入金名義が、ご登録の【お名前】と異なる場合は、必ず事前に下記メールにてご入金名義をご連絡ください。
　メールアドレス：[redacted]

以上、よろしくお願いいたします。

（様式 10）

2022 年 11 月 30 日提出

（あて先） 会派名 浜松市議会公明党
代表者 松下 正行

報 告 書

出張年月日	2022 年 11 月 19 日 ～ 2022 年 11 月 19 日
出 張 先	オンライン研修
出張の理由	社会福祉をめぐる新しい考え方を中心に、ヤングケアラーへの支援体制の取組みのあり方を学ぶため（オンラインセミナーで受講）
出 張 者 氏 名 印	幸田 惠里子

（出張の顛末）

9：40～11：10 「ソーシャルインクルージョンの具体的内容―議会・議員の役割」
講師＝青山 やすし氏 明治大学名誉教授 元東京都副知事

＊社会福祉をめぐる新しい考え方として、生活困窮者への社会的包容力を高めるには、まずは現金給付するが、その後の支援に力を入れて、住む場所の確保と働く場の提供のできる社会システム整備が必要である。そのためにも職業訓練の支援や住むところを無償で提供し社会から排除するのではなく、真に仕事で収入を得るように場を提供していくことで、まずは働くことの喜びを伝えていくことである。貧困になる前に貧困にならない支援を考えることの必要性を感じた。

11：20～12：50 「ヤングケアラー」についてのディスカッション
全国初のケアラー条例を制定して 田村琢実 埼玉県議会議員
ヤングケアラー支援の課題と必要な社会的取組 堀越栄子 日本ケアラー連盟代表

＊条例の制定による効果と施策の推進として、条例を制定することでしっかりと計画も盛り込んでいくこと。増加傾向のあるケアラー支援の課題と見える化をし、自らの人生をあきらめることのない体制を作っていくことが必要であること。浜松市の今後のヤングケアラー支援のあり方の参考になった。

（備考）

第3回

お申し込みは
こちら

自治体議員福祉研修

～福祉活動における議員の役割～

【定員】会場 50名/オンライン 50名

<1日目> 令和4年 11月18日(金) 13:30～17:00
<2日目> 令和4年 11月19日(土) 9:30～13:00

防災士研修センター〈九段下研修ルーム〉
東京都千代田区九段南1－5－5 九段サウスサイドスクエア 9F

in 東京

11月18日(金)

【こどもの貧困】（ディスカッション）



～こども宅食～
講師：琉澤 貴修
東京都荒川区長



～こどもの貧困～
講師：渡辺 由美子
NPO法人キッズドア・理事長



「福祉と住宅」
講師：山本 美香
東洋大学ライフデザイン学部
生活支援学科 教授

11月19日(土)



「ソーシャル・インクルージョンの具体的内容－議会・議員の役割」
講師：青山 俊
明治大学名誉教授

【ヤングケアラー】（ディスカッション）



～全国初のケアラー条例を制定して～
講師：田村 輝実
埼玉県議会議員

～ヤングケアラー支援の課題と必要な社会的取組み～
講師：堀越 栄子
一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事

受講料（会場・オンライン受講同額）
全2日間 ¥48,000 1日のみ ¥26,000
※防災士資格をお持ちの方は割引料金で受講いただけます。

～次回の開催予定～
第4回 令和5年 2/10(金) 11(土)

【共催】
防災士研修センター 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館7階
TEL(03) 6261-0003 FAX(03) 3556-5535 jukou1@bousaishi.net
令和防災研究所 TEL(03) 6261-5180 FAX(03) 3556-5535 office@reiwabousai.info

自治体議員福祉研修プログラム

～福祉活動における議員の役割～

11月18日(金)

13:40～15:10 【こどもの貧困】(ディスカッション)



講師：成澤 廣修　東京都文京区長

～こども宅食～

いわゆる「こどもの貧困」に対する手段のひとつとして2017年に文京区で導入された「こども宅食」は、立場の異なる組織（行政、企業、NPO、財団、有志団体など）の協働や「ふるさと納税」による資金調達などの特徴をもっています。この事業の立ち上げから5年が経過した今年、その制度の現状と今後についてお話しいただきます。



講師：渡辺 由美子　NPO法人キッズドア・理事長

～こどもの貧困～

文京区の「こども宅食」事業の根幹をなす「コレクティブ・インパクト」、生活困窮や食品のコーディネートを担う団体「キッズドア」の設立の経緯やその具体的な運営方法と課題について、お話しいただきます。さらにキッズドアによる「クラウドファンディング」による食料調達活動など、こどもの貧困に起因する課題を解決策について提案いただきます。

15:20～16:50 「福祉と住宅」



講師：山本 美香　東洋大学ライフデザイン学部 生活支援学科 教授

超高齢化・人口減少・生活困窮といった社会課題に対し、福祉という社会の営みと住宅という建築の両方の面から論じます。バリアフリー化、介護住宅の福祉拠点への再編、住宅確保要配慮者に対する居住支援とその推進に携わる多様な専門家たちの連携について紹介していただきます。

11月19日(土)

9:40～11:10 「ソーシャル・インクルージョンの具体的内容 ～議会・議員の役割」



講師：青山 佾　明治大学名誉教授

ソーシャルインクルージョンとダイバシティーという言葉は、社会のありかや市民参加そしてビジネスの社会でも用いられるようになりました。反対語であり社会的排除とは経済的貧困だけの原因だけではありません。ソーシャルインクルージョンの概念を広げていく、多面にわたる取り組みが必要となっています。その対象を広げていきます。その具体的内容について論じ、具体的な事例を基に、この社会課題に取り組む議会・議員の役割を指示します。

11:20～12:50 【ヤングケアラー】(ディスカッション)



講師：田村 琢実　埼玉県議会議員

～全国初のケアラー条例を制定して～

ケアラー条例は令和2年3月に埼玉県で初めて全国で初めて制定され、現在31自治体で制定されています。その先駆けとなった田村琢実議員に、議員提案を行った経緯や制定までの具体的な活動内容についてお話しいただきます。



講師：堀越 栄子　一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事

～ヤングケアラー支援の課題と必要な社会的取組み～

堀越栄子が代表理事を務める日本ケアラー連盟は、「社会的なケアラー支援における、ケアラー支援法・支援条例の制定を目指し、国会や地方議会に働きかけています。今回は「ヤングケアラー」に対して、その理解、発見と支援の全般的な課題や取り組みについて、お話しいただきます。



- ✓ リーダーシップに精通した複数の専門家が担当します。
- ✓ ケーススタディーとその解決策についてディスカッションを行います。
- ✓ 異業種との知識共有、相互作用効果が期待できます。

〈オンライン〉

第3回 自治体議員福祉研修

開催日時

＜1日目＞
令和4年11月18日(金) 13:30～17:00
13:00～　開 場・受付開始
13:30～17:00　ガイダンス・研 修・ディスカッション

＜2日目＞
令和4年11月19日(土)　9:30～13:00
9:00～　開 場・受付開始
9:30～13:00　ガイダンス・研 修・ディスカッション

会 場

防災士研修センター〈九段下研修ルーム〉
東京都千代田区九段南1－5－5 九段サウスサイドスクエア 9F

予定講師

青山 佾　明治大学名誉教授、令和防災研究所 所長

田村 琢実　埼玉県議会議員

成澤 廣修　東京都文京区長

堀越 栄子　一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事

山本 美香　東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科 教授

渡辺 由美子　NPO法人キッズドア・理事長

◎五十音順

共催 防災士研修センター／令和防災研究所
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館7階
TEL: 03-6261-0003 (10時～18時／土日祝除く)
FAX: 03-3556-5535
mail: jukou1@bousaishi.net

会場研修予定プログラム

	1日目（11/18）	2日目（11/19）
	（13：00～13：30） 受　付 お名前の確認	（9：00～9：30） 受　付 お名前の確認
	（13：30～13：40） ガイダンス	（9：30～9：40） ガイダンス
1限目	（13：40～14：20） 「こどもの貧困」 成澤 廣修 講師 ／渡辺 由美子 講師	（9：40～10：35） 「ソーシャル・インクルージョンの具体的内容――議会・議員の役割」 青山 佾 講師
	（14：20～14：30） 質問受付	（10：35～10：45） 質問受付
	（14：30～15：10） ディスカッション	（10：45～11：10） 質疑応答
	（15：10～15：20） 休　憩	（11：10～11：20） 休　憩
2限目	（15：20～16：15） 「福祉と住宅」 山本 美香 講師	（11：20～12：00） 「ヤングケアラー」 田村 琢実 講師／堀越 栄子 講師
	（16：15～16：25） 質問受付	（12：00～12：10） 質問受付
	（16：25～16：50） 質疑応答	（12：10～12：50） ディスカッション
	（16：50～17：00） 事務連絡	（12：50～13：00） 事務連絡

◎上記の時間割は、講師の公務、交通事情、災害の発生等により変更することがございます。

参加にあたってのお願い

1. Zoomで配信を行います。Zoomで視聴するURLのご案内は、開催日前日を目途にメールにてご連絡いたしま
   ※開催日当日になってもメールが届かない場合は下記事務局までご連絡をお願いします。
   080-2333-7270（防災士研修センター運営
2. 事前に視聴するための環境の設定をお願いいたします。（詳細は「議員研修オンライン視聴マニュアル」参照）
   ・スマートフォン・タブレットで視聴される場合、Zoomアプリのインストールが必要です。
   （初めてZoomを使用する端末のみ）
   ・パソコンはブラウザでのご視聴も可能です。（Zoomアプリまたはブラウザは、最新版のものをご使用ください。
   ・Zoomのご利用は使用端末によって、利用手順が異なります。事前にアプリのインストールが必要となる場合もございます。ご参加前に必ず登録等準備をお願いします。
   ・インターネットは有線での接続を推奨しております。
   無線（Wi-Fi/モバイル通信）で視聴される場合は、電波の良い環境でご視聴ください。
   ・通信容量が1時間あたり600MB消費しますので、通信容量に制限のあるプランの場合はご注意ください。
   ・参加者のマイク音声・カメラ映像は配信されません。
   ・ご使用の端末のセキュリティ制限により、Zoomを利用できない場合があります。
   ・Zoom使用は電力をより必要としますので、電源切れにご留意ください。
   ※環境選定に伴う当事務局へのお問い合わせはお答え出来かねますのでよろしくお願いいたします。
3. 当日は、ライブ配信側の機材や通信等の障害により、視聴するURL等の変更などが生じた場合は、事務局よりご登録いただいたメールにご案内いたします。
4. 当日、参加登録者様の視聴環境に伴う閲覧の不具合について、当事務局は一切の責任を負いかねます。

（様式６）

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和４年　11月　15日　～　令和４年　11月　15日
出張先（目的）	ANAインターコンチネンタルホテル東京（やらまいか交流会2022　参加）

出張者氏名				
	松下正行	黒田　豊	丸　英之	山崎とし子

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	６６，９００円	詳細は下記および別紙添付
日　当	６，０００円	@　１，５００円×４人×１日
宿泊費	円	@　　円×　人×　泊
合　計	７２，９００円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
			¥	7	2	9	0	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和４年　11月　17日

会　派　名　浜松市議会　公明党

代　表　者　　松下　正行 [redacted]

（署名又は記名押印をしてください。）

〈詳細〉

松下議員・丸議員　東京メトロ（往復）　新橋駅～溜池山王駅　340円×２名分

黒田議員　バス　新橋町～浜松駅　260円

（様式６）

<別紙　領収書添付欄　1>

駅-No　5201270　　領収書-No　117
　　窓口-No　4

領　収　書

浜松市議会　公明党　様

金額　　￥16,480円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年11月15日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

浜松駅

現金出納社員　[redacted]

駅-No　5201270　　領収書-No　116
　　窓口-No　4

領　収　書

浜松市議会　公明党　様

金額　　￥16,480円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年11月15日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

浜松駅

現金出納社員　[redacted]

交通費　新幹線チケット往復代

浜松駅北口店

ミスタージョン

浜松市中区砂山町320-5 TEL 053-459-5858

領　収　書

2022.11.15（火）　15 時 36 分　発行 No.A184

[売]［ 新幹線 ］　浜松 - 東京・品川 自
2 枚　@ 7300　14,600

合計　2 枚　¥ 14,600

【お預かり】¥ 20,000【お釣り】¥ 5,400

担当者 ・・・ [redacted]

★　商品の返品はレシート発行日も含め７日以内でお願いします。
（※返品の際には必ずレシート及び領収書をお持ち下さい）

０４１□□□□□□□□□□□□□
□　毎度ありがとうございます　□
□　リブレ平田町第１駐車場　□
□　リブレ株式会社　□
□□□□□□□□□□□□□□□

領　収　証

入庫日時 2022年11月15日 15時26分
出庫日時 2022年11月15日 21時49分
No.01-002402　券No.01-096320

駐車料金（一般 ）　600円

料金計　600円

投入現金　600円
釣銭額　0円

駅No 5201270　領収書No 8　窓口No 4

領　収　書

浜松市議会公明党 様

金額　¥11,960円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年11月14日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

浜松駅

現金出納社員 [redacted]

領　収　書

現金・チケット・クーポン・割引 No.5405

日付 2022年 11月 15日

車番 020368　0000

運賃　¥1,800円

運賃料金計　¥1,800円

合計　¥1,800円

上記の様に領収致しました

通行料・その他　円

上記金額正に領収致しました。

西岡タクシー

ドア番号：6

お忘れ物は下記弁護団体へ

個人 東京都個人タクシー協同組合
足立第一支部

平日9時30～17時 fax 03(3849)6783

時間外 fax03(6271)0306

お問い合わせは

(一社)東京都個人タクシー協会 tel 3947-1461

ご被害は

(公財)東京タクシーセンター tel 3648-0300

No019

領収書

2022年11月15日

車番　48

運賃　2000円

運賃料金計　2000円

計　2000円

お忘れ物は当社へ

富士交通株式会社

TEL 03(3913)1181

領　収　証

No.7879

日付 2022年 11月 15日

車番 000020　0000

基本運賃　¥2,040円

合計　¥2,040円

上記の様に領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。
次回も光タクシーのご利用をお待ち申し上げます。

ご用命／お問合せ／お忘れ物

さわやか
光タクシー

〒432-8023 浜松市中区鴨江3丁目56番6号

☎053-453-4181

（様式８）

令和４年10月31日

会 派 名　浜松市議会　公明党
代 表 者　代表　松下　正行　様

会 派 名　浜松市議会　公明党
氏　　名　　松下　正行 [redacted]
（署名又は記名押印を[redacted]い。）

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1　出張者

松下　正行　　黒田　豊　　丸　英之　　山崎とし子

2　期間及び出張先

令和４年11月15日(火)　18：30～20：30

東京都港区（ANAインターコンチネンタルホテル東京）

3　目的

やらまいか交流会参加者との意見交換

視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長　様

会　派　名
代表者氏名
（署名又は記名押印をしてください。）

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

（様式 10）

令和 4 年 11 月 17 日提出

（あて先）　会派名　公明党
　　代表者　松下　正行

報　告　書

出張年月日	令和 4 年 11 月 15 日
出　張　先	東京都港区
出張の理由	浜松やらまいか交流会 2022 参加者との意見交換
出　張　者 氏　名　印	松下　正行 [redacted]

（出張の顛末）

ANA インターコンチネンタルホテル東京において 11 月 15 日（火）18：30 より開催されました。意見聴取は、以下の通りです。

・[redacted] 氏
今後のビーチバレーボールについてコートやオリンピックへの取組、地域の小中学校への普及について意見交換させていただきました。

・[redacted] 氏
ラグビーの普及について小中学校の子どもたちへスポーツ育成事業の展開などについて意見を頂きました。

・[redacted] 氏
幸福度ランキング日本一について評価の内容を具体的に指標についてと今後の施策展開について意見交換させていただきました。

（所感）

・3 年ぶりの浜松やらまいか交流会が盛会に開催され、やらまいか大使とその他の浜松市出身者との意見交換もでき有意義な時間を過ごすことができ、浜松市政に反映していきたい。

（様式 10）

令和　4　年　11　月　16　日提出

（あて先）　会派名　　公明党
　　代表者　　松下　正行

報　告　書

出張年月日	令和４年１１月１５日
出　張　先	東京都内
出張の理由	浜松やらまいか交流会 2022 に参加
出　張　者 氏　名　印	黒田　豊[redacted]

（出張の顛末）

１、ANA インターコンチネンタルホテル東京において開催

２、18:30　開会

３、交流会では以下の方たちと懇談

(1) 一般社団法人　日本総合研究所　理事長松岡　斉／[redacted]

(2) [redacted]

(3) 静岡ブルーレブズ（株）代表取締役社長　山谷拓志

(4) [redacted]

(5) 内閣府　参事官　小柳太郎

４、懇談要旨

◇ 浜松市は弊社の幸福度 No.1 に返り咲いた。
しかし、市民は幸福を謳歌していない。
今後は、世代別の取り組みに力を入れて、市民の幸福を実感して
もらわねばならない。

◇ 今年は残念な年であった。
浜松に伺いたいと思っている。

◇ 浜松市にラグビースタジアムを造って欲しい。
全国で秩父宮ラグビー場くらいしかない。
浜松市にラグビースタジアムができれば、全国の試合が浜松市に集まる。
陸上競技場と合わせて作っても、200 億くらい。
様々な考えを持ち合わせているので、一度、話を聞いてほしい。
携帯電話の交換をした。

◇ ビーチコートの完成が待ち遠しい。
一度に作るのではなく、部分的に完成させて使用しながら別の個所を作る。
そのようにすると良い。
浜松に国際的なゲームを誘致したいし、国際的に活躍できる人材を輩出して
いきたい。

◇ 元浜松市財政部長であり、お互いの活躍を讃えあう。

（備考）

（様式10）

令和４年　11月　16日提出

（あて先）　会派名　　公明党
　　代表者　　松下　正行

報　告　書

出張年月日	令和４年１１月１５日
出　張　先	東京都港区
出張の理由	浜松やらまいか交流会参加者との意見交換
出張者氏名	丸　英之 [redacted]

（出張の顛末）

11月15日　午後18時30分から、ANAインターコンチネンタルホテル東京において開催された、浜松やらまいか交流会において、参加者と意見交換等を行った。主なやり取りは下記のとおり。

【浜松やらまいか交流会】◆参加者からの意見聴取等

・参議院議員　上田勇氏

本市が進めている農業政策（農業出荷額等）について、かんきつ類の出荷が大きな要因であり、海外展開など含めご意見をいただいた。

・やらまいか大使　長門慶次氏

観光誘客について、現状のコロナ禍を踏まえ、インバウンドを含め、さまざまな施策展開をどうする家康放映を契機に拡大、提案していく等の意見をいただいた。

・[redacted]

幸福度日本一の評価についての、今後の本市としての施策の進め方について等のご意見をいただいた。

・[redacted]

舞台設定および、ブースの展開など、事業について意見を伺った。

（所感）

・浜松やらまいか交流会が３年ぶりに開催され、浜松ゆかり（関連）のひとが関心をもって参加され、また、他都市の東京事務所の方にも多く参加いただき、市長の報告とともに、浜松市の取り組みをリアルに紹介できたことは、非常に効果的であると感じた。また、職員のなかにも、東京事務所長を経験したかたが多くおり、変遷も伺った。

・参加者から貴重な意見を伺い、有意義であることから、今後も継続をして参加し、市政に役立てていきたい。

（様式10）

令和　4年　11月　16日提出

（あて先）　会派名　　浜松市議会公明党
代表者　　松下正行

報　告　書

出張年月日	令和　4年　11月　15日
出　張　先	東京都港区
出張の理由	やらまいか交流会参加者との意見交換
出　張　者 氏　名　印	山崎　とし子 [redacted]

（出張の顛末）

11月15日　午後18時から、ANAインターコンチネンタルホテル東京において開催された、やらまいか交流会において、参加者と意見交換をした。主なやりとりは下記のとおり。

【浜松やらまいか交流会】

＊参加者からの意見聴取等

・やらまいか大使　渡部カンコロンゴ　清花　氏

本市の外国人の就職環境を積極的に推進することについて

・参議院議員　上田勇氏

農薬の危険性について、肥料高騰に対する今後の対策について国からの支援を確認した。

・やらまいか大使　天玲美音氏

こどもミュージカルの発展のために指導者の立場での活躍を要望した。

（備考）

	科　目	相 手 先	摘　　要	収入	支出
R4.5.1	広報費	松下正行	4月分市内及び近接地旅費		148
R4.5.2	広報費	丸　英之	4月分市内及び近接地旅費		518
R4.5.2	広報費	黒田　豊	4月分市内及び近接地旅費		999
R4.6.1	広報費	黒田　豊	5月分市内及び近接地旅費		851
R4.6.2	広報費	丸　英之	5月分市内及び近接地旅費		1,184
R4.7.1	広報費	松下正行	6月分市内及び近接地旅費		925
R4.8.1	広報費	松下正行	7月分市内及び近接地旅費		4,033
R4.8.1	広報費	幸田惠里子	7月分市内及び近接地旅費		962
R4.8.1	広報費	黒田　豊	7月分市内及び近接地旅費		592
R4.8.5	広報費	日本郵便株式会社	郵送代(通信)		171,616
R4.8.29	広報費	クリエイティブプロジェクト・ズーム	デザイン・印刷代		267,850
R4.8.29	広報費	クリエイティブプロジェクト・ズーム	封筒代		95,150
R4.9.1	広報費	松下正行	8月分市内及び近接地旅費		1,480
R4.9.1	広報費	黒田　豊	8月分市内及び近接地旅費		2,220
R4.10.3	広報費	黒田　豊	9月分市内及び近接地旅費		629
R4.10.4	広報費	丸　英之	9月分市内及び近接地旅費		962
R4.10.5	広報費	松下正行	9月分市内及び近接地旅費		3,441
	広報費 集計			0	553,560

	科　目	相 手 先	摘　　要	収入	支出
R4.11.1	広報費	黒田　豊	10月分市内及び近接地旅費		1,110
R4.11.2	広報費	丸　英之	10月分市内及び近接地旅費		592
R4.11.7	広報費	松下正行	10月分市内及び近接地旅費		1,110
R4.12.1	広報費	黒田　豊	11月分市内及び近接地旅費		3,071
R4.12.1	広報費	丸　英之	11月分市内及び近接地旅費		370
R5.1.6	広報費	黒田　豊	12月分市内及び近接地旅費		1,850
R5.2.1	広報費	黒田　豊	1月分市内及び近接地旅費		4,033
R5.2.2	広報費	幸田惠里子	1月分市内及び近接地旅費		666
R5.2.3	広報費	丸　英之	1月分市内及び近接地旅費		444
R5.3.1	広報費	黒田　豊	2月分市内及び近接地旅費		2,849
	広報費 集計			0	16,095

領収書

毎度ありがとうございます。

お客様名：浜松市議会 公明党 [redacted] 様
お客様番号：[redacted]
住　　所：〒 430-0946
静岡県浜松市　中区元城町103-2　浜松市役所７階　公明党

料金額	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円
				¥	1	7	1	6	1	6

別納引受
（内訳）

収納内訳

現金	171,616円
証紙	-
切手	-
小切手	-

〈種別〉	〈特殊取扱〉	〈重目/サイズ〉	〈通(個)数〉	〈単価(円)〉	〈料金(円)〉	〈摘要〉
ゆうメール特別		26.0g	5,363	32	171,616	
区内		1.0cm未満				
		小計			171,616	

料金計	171,616円	割引計	0円	課税計	171,616円		
				(内消費税等	15,601円)		
				非課税計	0円	お預り 現金	171,616円
				合計	171,616円	おつり	0円

上記のとおり領収しました。

〒 100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
連 絡 先 ： 浜松西郵便局 [redacted]
電話番号 ： 0570-943-610

発行番号 ： 220805d0001
発行日時 ： 2022年 8月 5日 09:53

印紙税申告納付につき麹町税務署承認済

領収日
2022. 08. 05

20220805 - 2001 - 234450 - 02761656 - 220805d0001 - 001

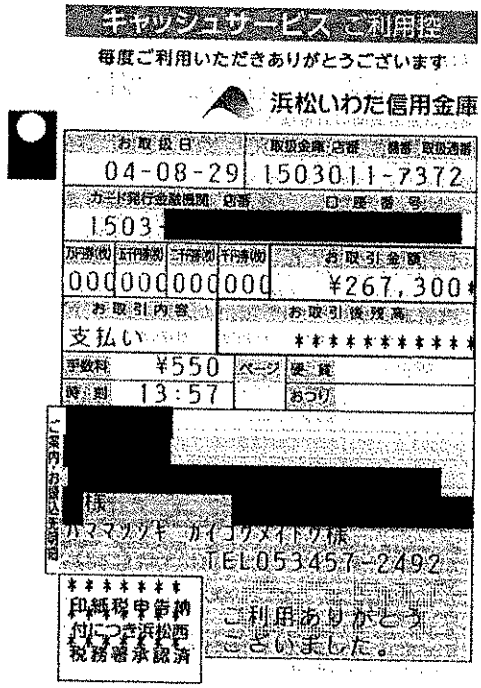
（様式７）

支　払　証　明　書

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
		¥	2	6	7	8	5	0

但し　　通信デザイン・印刷代　　として

振込先　　(株)クリエイティブプロジェクト・ズーム



通信デザイン・印刷代　　２６７，３００円
振込手数料　　５５０円
合　　計　　２６７，８５０円

※別添、請求書・領収書有り

上記の金額を政務活動費として支払うことを証明します。

令和４年８月29日

会派名　　浜松市議会　公明党

代表者　　松下　正行　[redacted]

（様式７）

〈別紙　領収書添付欄　1〉

領　収　証　№ 000052

浜松市議会公明党　様　　令和 4 年 8 月 29 日

¥2673000

但し浜松市議会公明党通信令和特夏号
予算印刷費として

上記金額正に領収致しました

Creative Project
ZOOOM
株式会社クリエイティブプロジェクト・ズーム
〒435-0036 [redacted] 瀬町800-11
TEL.053- [redacted] 411-4889

200円

取扱者印

社印及び取扱者印無きもの
金額訂正は無効とす取扱者
は金額頭に必ず捺印のこと

請求書

令和4年8月5日

浜松市議会公明党 御中

平素は格別なるお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。下記のとおり御見積り申し上げます。

株式会社クリエイティブプロジェクト・ズーム
〒435-0036 静岡県浜松市[redacted]300-11
TEL:053-411-4888 FA[redacted]4889

担当／[redacted]

浜松市議会公明党通信　令和4年夏号　デザイン、印刷費

項目	仕様	数量	単価	金額
デザイン、印刷費	A4、4色/4色、マットコート70kg、3折	6,500	37.38	243,000
	※イラスト制作含みます			
合計				243,000
消費税				24,300
総合計				267,300